

# 第43回 花巻市景況調査結果

(2020年10月～12月期)

**花巻市景況調査**

花巻市内中小企業100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は96%。

D I 値・・・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。D I 値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断D I 13.1ポイント改善」(▲44.2→▲31.1)
- 「売上額D I 3.4ポイント増加」(▲36.8→▲33.4)」

**業況判断D I ▲31.1 (全国平均▲26.1)**

花巻市の業況判断D I は、今期全産業平均でマイナス幅が13.1ポイント縮小(▲44.2→▲31.1)し、2期連続して上昇した。

業種別に見ると、建設業が前期差15.0ポイント減で唯一悪化を示したが、その他の業種はいずれもマイナス幅が縮小した。

来期予想は、全業種で悪化すると予想している。サービス業が27.8ポイントの悪化を見込むほか、建設業・卸売業・小売業も20ポイント前後の悪化となる見込みである。

全国の調査結果では、全産業平均の業況判断が8ポイント増(▲34.1→▲26.1)となり、2期連続してマイナス幅が縮小した。業種別に見ても製造業、非製造業ともマイナス幅が縮小している。

東北経済産業局管内でも、6県平均7.3ポイントマイナス幅が縮小(▲37.1→▲29.8)している。岩手県においては全産業平均14.8ポイントマイナス幅が縮小し▲24.4となった。

(DI 値比較)

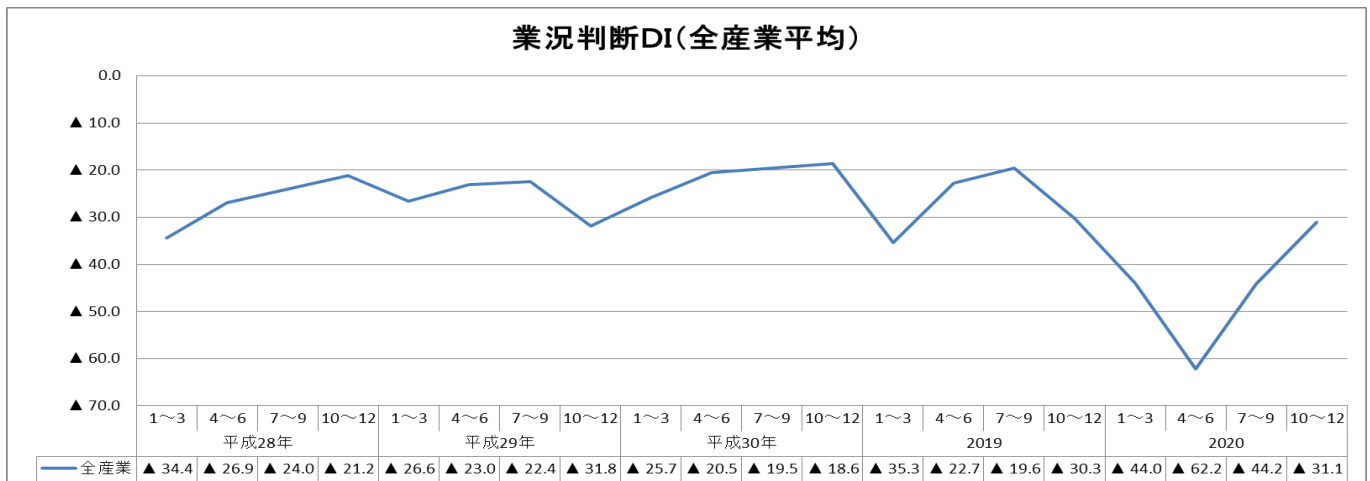
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
全国平均	▲29.2	▲17.1	▲21.5	▲31.4	▲25.3	▲26.1
東北平均	▲32.5	▲18.0	▲11.9	▲37.4	▲29.9	▲29.8
花巻市	▲38.9	▲25.0	▲11.1	▲41.7	▲38.9	▲31.1

業況判断(前期比)

年 月期	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020				前期増減	来期予想	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12			
製造業	▲22.2	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲22.2	▲27.8	▲5.6	▲27.8	▲11.1	▲5.6	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲11.1	▲33.3	▲72.2	▲44.4	▲38.9	↗	5.6	▲44.4
建設業	▲40.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲25.0	▲35.0	5.0	▲10.0	▲45.0	▲50.0	▲10.0	▲25.0	↘	▲15.0	▲45.0
卸売業	▲33.3	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲44.4	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	↗	33.3	▲33.3
小売業	▲48.6	▲40.0	▲37.1	▲28.6	▲34.3	▲42.9	▲40.0	▲42.9	▲51.4	▲37.1	▲14.3	▲42.9	▲51.4	▲22.9	▲30.6	▲58.3	▲69.4	▲83.3	▲66.7	▲41.7	↗	25.0	▲61.1
サービス業	▲27.8	▲33.3	▲27.8	▲27.8	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲44.4	▲16.7	▲27.8	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲50.0	▲55.6	▲38.9	↗	16.7	▲66.7
全産業	▲34.4	▲26.9	▲24.0	▲21.2	▲26.6	▲23.0	▲22.4	▲31.8	▲25.7	▲20.5	▲19.5	▲18.6	▲35.3	▲22.7	▲19.6	▲30.3	▲44.0	▲62.2	▲44.2	▲31.1	↗	13.1	▲50.1

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

業況判断DI(全産業平均)



## 売上額DI ▲33.4 (全国平均▲23.7)

売上額DIは、全産業平均で3.4ポイントマイナス幅が縮小(▲36.8→▲33.4)した。

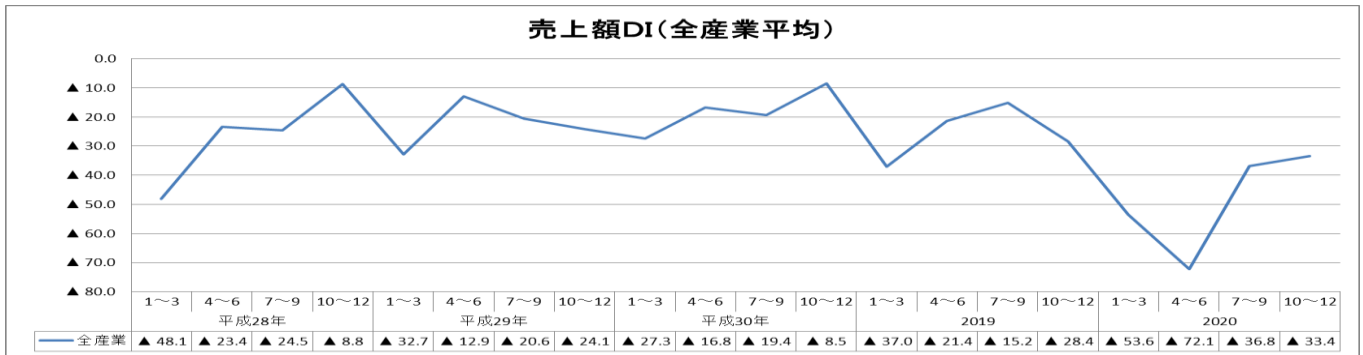
業種別に見ると、建設業とサービス業でマイナス幅が拡大したが、製造業・卸売業が20ポイント以上増加、小売業が2.8ポイント増となり、全業種平均でマイナス幅が縮小となった。

来期予想では、全業種が悪化を見込んでおり、建設業・サービス業は30ポイント以上、製造業・卸売業は20ポイント以上悪化を見込んでいる。

全国の調査結果では、全産業平均▲23.7で前期差3.7ポイントの増となっている。業種別に見ると小売業が1.4ポイント減となっているがその他業種はいずれもマイナス幅が縮小している。

年	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020				前期増減	来期予想	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12			
製造業	▲27.8	▲44.4	▲11.1	0.0	▲44.4	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲44.4	▲44.4	▲16.7	16.7	▲66.7	▲77.8	▲50.0	▲22.2	↗	27.8	▲44.4
建設業	▲50.0	15.0	▲10.0	15.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲10.0	▲5.0	▲25.0	▲40.0	10.0	▲20.0	▲40.0	▲80.0	5.0	▲20.0	↘	▲25.0	▲50.0
卸売業	▲55.6	▲11.1	▲33.3	▲22.2	▲33.3	11.1	0.0	▲44.4	▲22.2	0.0	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲22.2	▲33.3	▲66.7	▲44.4	▲22.2	↗	22.2	▲44.4
小売業	▲57.1	▲42.9	▲45.7	▲25.7	▲31.4	▲42.9	▲48.6	▲31.4	▲48.6	▲48.6	▲25.7	▲25.7	▲48.6	▲60.0	▲5.7	▲30.6	▲66.7	▲77.8	▲75.0	▲61.1	↔	2.8	▲63.9
サービス業	▲50.0	▲33.3	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲44.4	▲22.2	▲27.8	22.2	▲44.4	▲5.6	▲38.9	▲50.0	▲50.0	▲61.1	▲33.3	▲44.4	↘	▲11.1	▲77.8
全産業	▲48.1	▲23.4	▲24.5	▲8.8	▲32.7	▲12.9	▲20.6	▲24.1	▲27.3	▲16.8	▲19.4	▲8.5	▲37.0	▲21.4	▲15.2	▲28.4	▲53.6	▲72.1	▲36.8	▲33.4	↗	3.4	▲56.1

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



## 経常利益DI ▲51.3 (全国平均▲45.2)

経常利益DIは、全産業平均でマイナス幅が7.4ポイント縮小し(▲58.7→▲51.3)2期連続で改善を示した。

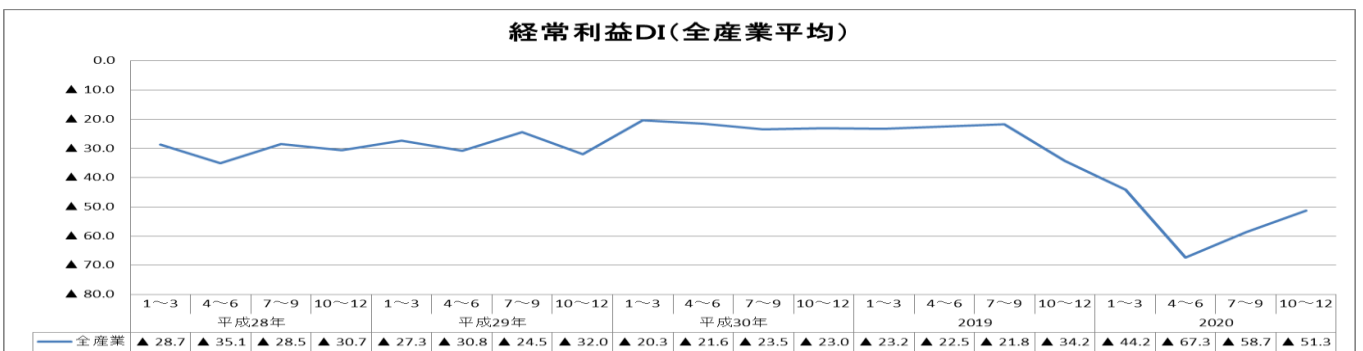
業種別では、サービス業が▲88.9(前期差16.7ポイント減)と調査開始以来最低のDI値となった。建設業も5ポイント悪化、その他の3業種は好転した。

来期予想では、製造業・小売業・サービス業が好転の見込み、その他業種は悪化の見込みである。

全国値では、前期差10.2ポイント(▲55.4→▲45.2)で2期連続マイナス幅が縮小している。

年	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020				前期増減	来期予想	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12			
製造業	▲11.1	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲22.2	▲22.2	▲16.7	▲27.8	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲27.8	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲33.3	▲72.2	▲72.2	▲66.7	↗	5.6	▲44.4
建設業	▲20.0	▲35.0	▲30.0	▲5.0	▲30.0	▲30.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲15.0	▲25.0	▲5.0	▲15.0	▲20.0	5.0	▲10.0	▲35.0	▲70.0	▲35.0	▲40.0	↘	▲5.0	▲60.0
卸売業	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲55.6	0.0	▲22.2	▲11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	↗	33.3	▲22.2
小売業	▲51.4	▲51.4	▲45.7	▲37.1	▲40.0	▲57.1	▲57.1	▲57.1	▲51.4	▲42.9	▲37.1	▲54.3	▲40.0	▲31.4	▲41.7	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲69.4	▲50.0	↗	19.4	▲61.1
サービス業	▲38.9	▲38.9	▲27.8	▲38.9	▲44.4	▲22.2	▲27.8	▲50.0	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲5.6	▲27.8	▲27.8	▲38.9	▲50.0	▲61.1	▲61.1	▲72.2	▲88.9	↘	▲16.7	▲72.2
全産業	▲28.7	▲35.1	▲28.5	▲30.7	▲27.3	▲30.8	▲24.5	▲32.0	▲20.3	▲21.6	▲23.5	▲23.0	▲23.2	▲22.5	▲21.8	▲34.2	▲44.2	▲67.3	▲58.7	▲51.3	↗	7.4	▲52.0

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



## 資金繰りDI ▲30.2 (全国平均▲19.0)

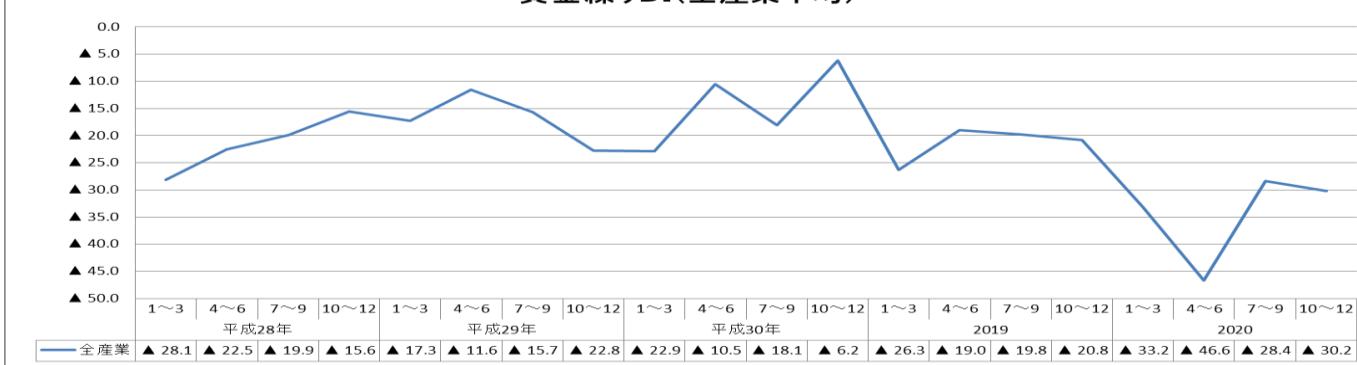
全産業平均で前期差 1.8 ポイント (▲28.4→▲30.2) マイナス幅が拡大した。  
業種別に見ると、建設業・サービス業が悪化、卸売業が改善、製造業・小売業が横ばいとなった。  
来期予想では、サービス業が低水準であるもののやや好転の見込みとなっているが、他業種では悪化を予想している。  
全国値では、全業種で好転し前期差 5.0 ポイント増 (▲24.0→▲19.0) と改善を示した。

資金繰りDI(前期比)

年 月期	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020				前期増減	来期予想	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12			
製造業	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲5.6	▲5.6	▲11.1	▲11.1	▲22.2	0.0	▲5.6	0.0	0.0	▲11.1	▲22.2	▲11.1	5.6	▲27.8	▲44.4	▲27.8	▲27.8	→	0.0	▲33.3
建設業	▲20.0	▲20.0	▲10.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	▲15.0	0.0	▲25.0	▲25.0	▲10.0	▲15.0	▲30.0	▲55.0	5.0	▲15.0	↘	▲20.0	▲25.0
卸売業	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲11.1	11.1	0.0	▲33.3	▲22.2	11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲11.1	↗	22.2	▲11.1
小売業	▲42.9	▲31.4	▲28.6	▲22.9	▲31.4	▲31.4	▲34.3	▲31.4	▲37.1	▲25.7	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲14.3	▲33.3	▲38.9	▲52.8	▲61.1	▲41.7	▲41.7	→	0.0	▲47.2
サービス業	▲44.4	▲22.2	▲16.7	▲22.2	▲33.3	▲16.7	▲33.3	▲22.2	▲50.0	▲22.2	▲33.3	0.0	▲33.3	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲44.4	▲55.6	↘	▲11.1	▲50.0
全産業	▲28.1	▲22.5	▲19.9	▲15.6	▲17.3	▲11.6	▲15.7	▲22.8	▲22.9	▲10.5	▲18.1	▲6.2	▲26.3	▲19.0	▲19.8	▲20.8	▲33.2	▲46.6	▲28.4	▲30.2	→	▲1.8	▲33.3

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

資金繰りDI(全産業平均)



## 従業員DI ▲11.4 (全国平均▲8.4)

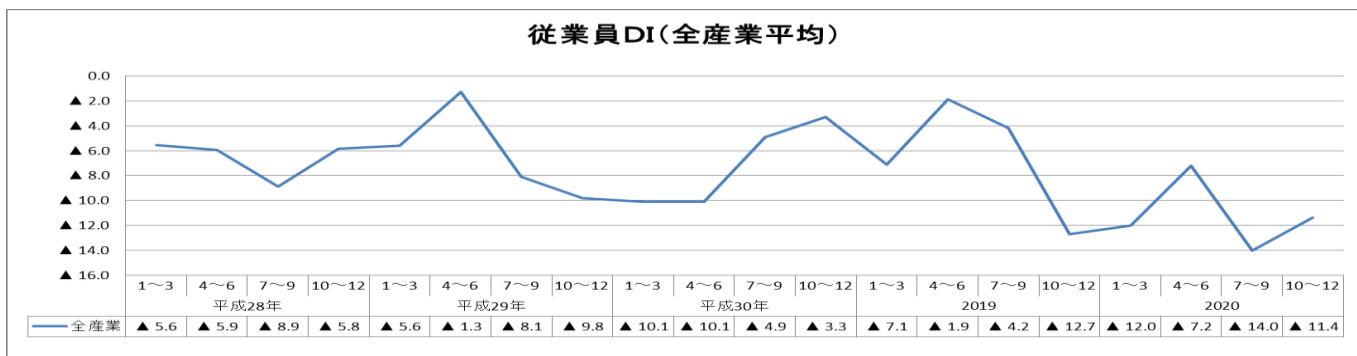
従業員数DIは、2.6ポイントマイナス幅が縮小 (▲14.0→▲11.4) した。  
産業別にみると、製造業と建設業が10ポイント以上マイナス幅が縮小し、卸売業・小売業はマイナス幅が拡大した。サービス業は2期連続の横ばいとなった。  
全国調査の従業員DIは、全産業ベースで前期▲10.2→今期▲8.4とやや増加した。

従業員DI(前年同期比)

年 月期	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020				前期増減	来期予想	
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12			
製造業	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲5.6	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲5.6	▲11.1	0.0	5.6	▲27.8	▲16.7	▲5.6	▲33.3	▲16.7	↗	16.7	▲11.1
建設業	0.0	▲10.0	▲25.0	▲15.0	0.0	5.0	▲15.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲5.0	0.0	▲5.0	10.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	▲25.0	▲20.0	▲10.0	↗	10.0	▲15.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	▲11.1	0.0	▲11.1	0.0	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	11.1	0.0	▲11.1	↘	▲11.1	▲11.1
小売業	0.0	▲8.6	▲2.9	▲8.6	▲5.7	▲5.7	▲14.3	▲11.4	▲2.9	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.8	▲11.1	0.0	0.0	▲2.8	→	▲2.8	▲5.6
サービス業	▲11.1	0.0	0.0	0.0	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲11.1	5.6	0.0	▲11.1	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	→	0.0	▲16.7
全産業	▲5.6	▲5.9	▲8.9	▲5.8	▲5.6	▲1.3	▲8.1	▲9.8	▲10.1	▲10.1	▲4.9	▲3.3	▲7.1	▲1.9	▲4.2	▲12.7	▲12.0	▲7.2	▲14.0	▲11.4	→	2.6	▲11.9

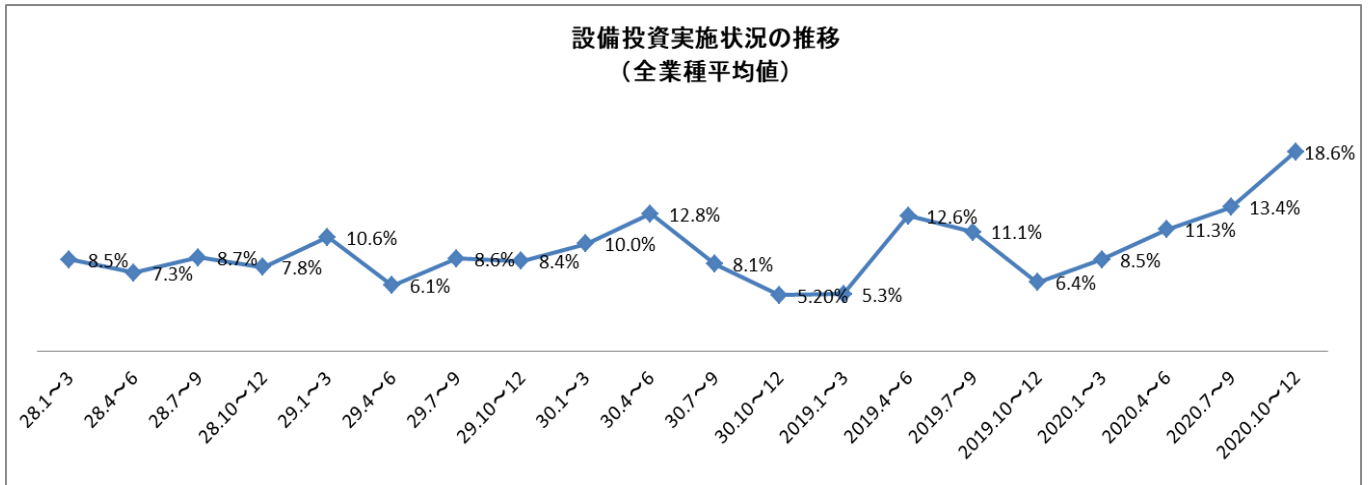
※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

従業員DI(全産業平均)



## 設備投資動向

- ・ 今期設備投資を実施した企業の割合は、18.6%（前期 13.4%）で4期連続増加した。
- ・ 来期設備投資を計画している企業の割合は5.2%で大幅に減少する見込み。
- ・ 全国値は今期 19.7%で前期より 1.2ポイント増加した。来期は3ポイント減少の見通し。



## 直面している経営上の問題点

製造業	1位	需要の停滞	29%	建設業	1位	民間需要の停滞	26%
	2位	生産設備の不足・老朽化	21%		2位	熟練技術者の確保難	18%
	3位	製品ニーズの変化	13%		3位	官公需用の停滞	14%
卸売業	1位	需要の停滞	17%	小売業	1位	需要の停滞	27%
	2位	小売業の進出による競争激化 人件費以外の経費増加 販売単価の上昇難	各 11%		2位	購買力の他地域流出	15%
サービス業	1位	需要の停滞	29%		3位	消費者ニーズの変化	13%
	2位	利用者ニーズの変化	16%				
	3位	利用料金の上昇難	13%				

- ・ 全国調査における経営上の問題点の順位は以下の通り。

	1位	2位	3位
製造業	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化
建設業	従業員確保難	民間需要の停滞	官公需用の停滞
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	大企業との競争激化
小売業	需要の停滞	消費者ニーズの変化	大・中型店との競争激化
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	従業員の確保難